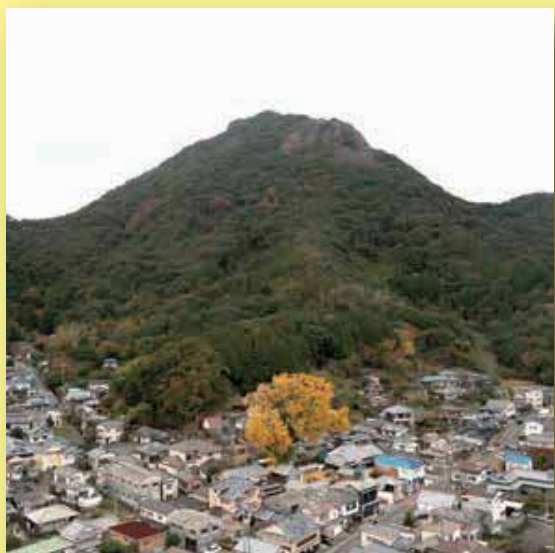




泉山英山と大イチョウ

▲ 令和 3 年 12 月議会の議場にて撮影
※ 撮影のためマスクを外しています。

CONTENTS

- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 4 号）P2
1 億 6 2 5 4 万円を増額補正
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 5 号）P3
4 億 2 4 4 1 万円を増額補正
- 委員会報告 P4~
- 一般質問 14 人が町政を問う P7~

令和 4 年 1 月 31 日 発行

主な補正予算を紹介

新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業

(事業費 3123万円)

国の方針により、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を実施する。

◆接種スケジュール(予定)

- ・令和3年12月 1日～ 医療従事者等
- ・令和4年 1月 ～ 高齢者施設入所者等
- ・令和4年 1月24日～ 一般高齢者



子育て世帯給付金(臨時特別給付金)

(事業費 総額3億2329万円)

●支給対象者～18歳まで 一括現金給付

※令和4年3月31日までに生まれた新生児も対象

支給日	0才～中学生	児童手当登録口座へ 令和3年12月24日
	高校生のみ世帯	(申請登録後) 令和4年1月末以降
	公務員世帯	
	新生児 (R3.10.1～R4.3.31生)	

支給額：10万円

令和3年12月専決処分

一般会計補正予算(第4号)⇒1億6254万円を増額し、
一般会計予算総額120億7300万円に

(事業名) 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
令和3年12月追加議案

一般会計補正予算(第6号)⇒1億6075万円を増額し、
一般会計補正予算総額126億5817万円に

(事業名) 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

有田町 議会だより

NO.60 12月

CONTENTS 目次

P2	予算
P4	委員会報告
P6	議案審議 一般質問 14人の議員が執行部と活発な議論を繰り広げました。
P7	中島 町内景気促進へのクーポン券配布
P8	松永 歴史と文化の森公園の外灯整備を
P9	池田 行政無線、戸別受信機の無償配置
P10	樋渡 生活環境保全林(有田ダム)整備
P11	諸隈 泉山・大谷線の今後の取り組みは
P12	岳川 地域経済の活性化を目指す取り組み
P13	原田 有工、地域みらい留学支援体制は
P14	手塚 成績と生活習慣の関係性は
P15	福島 高齢者に対する改正道交法の施行
P16	今泉 老朽空き家対策に伴う相続を
P17	梶原 「子育て応援宣言」をし支援を
P18	古賀 佐銀 ATMの増設要請はしたのか
P19	藤 太陽光パネルやEV火災のリスク
P20	蒲原 弱者のいない、やさしい町づくりを
P21	産業建設常任委員会視察報告
P22	総務常任委員会視察報告
P23	特別委員会調査報告ほか

令和3年12月議会定例会 補正予算

子育て世帯への臨時特別給付金 国の方針により現金一括支給決定!!

令和3年12月議会定例会は、12月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。

令和3年度一般会計補正予算（第5号）では、公共土木災害復旧事業のほか、新型コロナウイルス対応地方創生費として飲食店を通じた地域活性化事業などを新たに追加、補正額4億2441万円で総額124億9741万円となりました。

泉山の大公孫樹と英山 ▶
(秋の有田陶磁器まつり)



■一般会計の主な事業

(単位：万円)

事業名	内 容	金 額
飲食店を通じた地域活性化事業	補助金（国庫支出金）	1 5 0 0
障害福祉サービス事業	介護及び訓練等給付費、相談支援給付費	6 5 9 7
障害児福祉サービス事業	障害児通所給付費、障害児相談支援給付費	2 3 3 0
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	予防接種委託料、集団接種会場運営補助委託料、ワクチン配送業務委託料他	3 1 2 3
赤坂球場施設管理事業	こけら落とし事業開催委託料、球場施設備品購入費	6 1 1
(新型コロナ対応)スマートロック及び施設予約システム導入事業	インターネット通信費、リモートロック及びまちかざりモート導入委託料、体育施設ドア取替工事他	6 0 0
農地農業用施設災害復旧事業	測量委託料、工事請負費	2 億 2 9 8 1
公共土木災害復旧事業	現年災害復旧工事	6 5 0

特別会計・企業会計補正

○特別会計	○国民健康保険特別会計	36万円	(電算処理業務委託料他)
	○後期高齢者医療特別会計	134万円	(一般会計繰出金)
	○介護保険特別会計	△23万円	(介護予防サービス計画費他)
○企業会計	○浄化槽整備推進事業	204万円	収益的支出(修繕費)
		2060万円	資本的収入(建設改良企業債)
		1200万円	資本的支出(工事請負費)
			*その他 公共下水道事業会計等

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 梶原 貞則
副委員長 久保田 均

▼町道路線の認定

久保田委員 南原60号線から奥の方は、町道認定前に宅地開発されていたが。

建設課長 当該箇所は道路位置指定にて開発されている。

▼令和3年度有田町一般会計補正予算(第5号)

岳川委員 災害復旧費の工事請負費である2億2886万円の内訳は。

建設課長 今年8月の豪雨被害額をもとに、予算を上程している。現在報告を受けている被害額は、農地が14カ所、28工区で約6千万円、農業用施設が9カ所、10工区で約1億5千万円である。

原田委員 飲食店の割引

サービスの詳細を。

商工観光課長 登録飲食店を利用された場合、10%割引で利用できる予定。テイクアウト及び、店内飲食も対応する。1月中旬から実施予定であり、予算がなくなり次第終了となる。

▼令和3年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(第2号)

手塚委員 合併浄化槽の設置を推進されているが、合併浄化槽の耐用年数は。

上下水道課長 合併浄化槽が設置され始めてから、現在までの経過年数と同年程度が耐用年数と推測され、耐用年数は28年として捉えている。状況により、今後、延びていくことも考えられる。

▼令和3年度有田町水道事業会計補正予算(第3号)

梶原委員 漏水や断水工事等の際、水道管の老朽により赤水が発生する場合がある。県道や町道の工事の際に古い管の取り替えを行っているのか。

上下水道課長 道路改良工事の舗装をする前に、老朽管の入れ替え工事を行っている。地区で頻繁に漏水しただ



▲水道管布設工事の様子

したら全体的にそこが入れ替え時期と想定されるが、予算的なこと

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 今泉藤一郎
副委員長 蒲原多三男

▼有田町国民健康保険条例の一部を改正する条例

今泉委員 産科の医療保障制度で、掛け金の引き下げ理由は。

健康福祉課長 令和4年から出生した子どもの、低酸素状態を一般審査に統合され、一分婉あたりの掛け金がかかる。

▼令和3年度有田町一般会計補正予算(第5号)

今泉委員 18歳以下の子どもに支給される、10万円の給

もあり、漏水箇所を部分的に修繕している。

付金の対応は。

子育て支援課長 中学生以下の子供手当受給世帯には、12月24日に支給したい。高校生のみの世帯や公務員世帯は、所得判定や口座の登録が必要となるので、来年の支給になる。



▲有田町歴史民俗資料館西館外観

今泉委員 身体障がい者（児）補装具給付事業の内容は。

健康福祉課長 車いすの購入や修理、補聴器の購入等で、身体障がい者は150万円増、身体障がい児で80万円増となる。

今泉委員 新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業で、今後の接種計画は。

健康福祉課長 対象年齢が12歳未満となれば対応する。3回目の接種は医療機関で先行し、高齢者が2月初旬からの実施予定となる。

今泉委員 有田町歴史民俗資料館西館外部剥落危険箇所調査工事があるが、近年の入館者数と今後の活用は。

文化財課長 最近はコロナの影響で、小学校からの見学もないが、整理はしている。一定期間開館する事も考えられる。

諸隈委員 避難所である

泉山体育館で、雨漏りを確認したが、修繕できないか。

生涯学習課長 中長期計画の中で、3年後までにはと予定している。その前に、各施設の照明器具のLED化をしたい。

今泉委員 焔の博記念堂

総務常任委員会

総務に関する事、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

（委員会構成議員 6人）

委員長 古賀 四郎
副委員長 松永 俊和

▼指定管理者の指定

松永委員 管理期間が3年から5年になった理由は。

総務課長 専門制を持った人材の配置が求められ、効率的な管理運営を行うため。

松尾委員 指定管理期間の変更は重要事項である。事前に議会へ説明があるべき。

松永委員 選定委員会メ

の、今後の整備概要の説明を。

生涯学習課長 大規模改修調査報告書に基づき、老朽箇所の均等な改修額となるように、向こう5カ年で、年間500万円（6000万円）の修繕計画をしている。

池田委員 令和4年度に

歴・文公園遊具撤去とあるがどの程度か。

副町長 全て撤去するのではなく、必要な物は補修もしていく。

松尾委員 屋根は大丈夫なのか、耐用年数は。

生涯学習課長 耐用年数は過ぎていたが大丈夫である。

▼指定管理者の指定

松永委員 多世代交流センター利用料の値下げはできないか。

子育て支援課長 利用料は、運営事業者が他の事業との均衡を図りながら決定している。

▼令和3年度有田町一般会計補正予算（第5号）

歳入
中島委員 ふるさと応援基金の主な使

道は。財政課長 感染症対策の定期予防接種

委託料が代表的となる。

中島委員 令和3年度ふるさと応援基金残高見込額はそのまま残すのか。

副町長 寄付者の意向に沿って活用したい。また今後、学校改築費も必要となる。

松永委員 町道改良事業に過疎債を使って良いか。

財政課長 過疎債の充当率は、他の地方債より有利である。東地区で過疎計画の事業であれば、過疎債が活用できる。

歳出

中島委員 以前消防団の報酬が低いと指摘したが、改善されるのか。
総務課長 令和4年度予算に反映できるよう検討している。

上程されたすべての議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。



▲歴史と文化の森公園遊具

令和3年12月議会議案の審議結果（一部抜粋）

議案番号	提 出 議 案	審議の結果
議案第83号	有田町税条例の一部を改正する条例について（商品軽自動車税〔種別割〕の免除）	賛成全員
議案第86号	指定管理者の指定について（歴史と文化の森公園＝特定非営利活動法人 響）	賛成全員
議案第87号	指定管理者の指定について（ゆいたん＝有田町社会福祉協議会）	賛成全員
議案第88号	佐賀県市町総合事務組合理約の変更について （多久小城医療組合、神崎市・吉野ヶ里町葬祭組合）	賛成全員
議案第89号	町道路線の認定について（町道南原59号線、町道南原60号線の追加）	賛成全員
議案第90号	町道路線の変更認定について （有田町山本字立木原乙4380番 立木原橋の老朽化による廃止で終点変更）	賛成全員
議案第91号	令和3年度有田町一般会計補正予算（第5号） （歳入歳出予算の総額＝124億9741万円）	賛成全員

ピックアップ

議案第87号 指定管理者の指定について 有田町多世代交流センター「ゆいたん」

指定する団体：社会福祉法人 有田町社会福祉協議会

所在地：有田町南原

指定の期間：令和4年4月1日～

令和6年3月31日



▲有田町多世代交流センター「ゆいたん」



▲撤去が予定されている立木原橋

議案第90号 町道路線の変更認定について 立木原橋の撤去

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第3項の規定により町道路線を変更する。

理由として、本路線の終点部にある立木原橋の老朽化による撤去計画に伴い、終点を変更して路線を短縮するためである。

町内景気促進へのクーポン券配布を

答 クーポン券の配布は考えていない



中島 達郎 議員

町内全体の景気活性化

議員 伊万里市が発行したような、町内全世帯への2千円分のクーポン券（1枚500円で4枚綴り）の配布を。

商工観光課長 券作成等に時間を要するため、考えていない。現在、クーポン券ではなく、飲食店を通じて全町民が利用できる地域活性化事業を予定している。

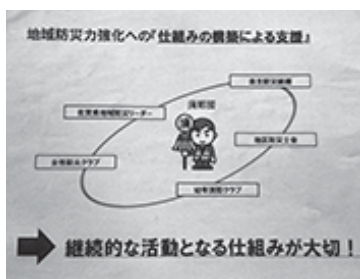
議員 国庫支出金による飲食店応援事業費用に加えて、予備費を活用しての対応は。

町長 予備費は、災害等不測の事態に備えて残しておきたい。

議員 重ねて、町長にクーポン券の配布も強くお願いしたい。

防災課の設置

議員 近年の異常気象



▲防災活動システム（出典：県危機管理防災課）

が原因で年々増え続ける豪雨災害の発生。それに備えた防災やインフラ整備事業等で、総務課や建設課の業務が多忙を極めている。そこで住民本位の立場に合ったワンストップ（1カ所で様々な対応が可能な総合窓口）的な防災課の設置を。総務課長 限られた職員で業務を遂行しており、防災に特化した部署があれば町としてもこの上ないが、現状での防災課の設置は難しい。今後も総務課を中心として役場全体で取り組みたいと考えている。

地域文化財総合活用推進事業

議員 町内の貴重な文化財の保護や維持管理と観光客促進も見据えた文化財保存地域計画事業の活用を。

文化財課長 この事業はまず、都道府県が文化財保存活用大綱を作成し、文化財の保存活用の基本的な方向性を明確化して、その地域内の市町村が同じ方針のもと取り組める環境を整備し、文化財保存地域計画書を作成する。県は今年度中に大綱を作成し、来年度以降に市町で作成可能となる。

町でも将来的に作成を検討したいが、条件として町内全域の未指定も含めた有形・無形文化財を全て洗い出し、様々なストーリーを組み立てる必要がある。棚田や古民家、民俗芸能など文化財課所管外

のものも含まれハードルが高いと予想され、事業の推進体制や予算も含めて、今後他市町の動向も踏まえ検討したい。

議員 内山グランドデザイン検討委員会の方

向性や過疎債事業計画との関連性は。文化財課長 検討結果はまだ出ていない。今後、メリットのある方法を探ればと考える。まちづくり課長 過疎計画書の地域文化振興の項目に文化財保護活用もあり、補助事業も含め精査検討したい。

文化財保存活用地域計画



▲文化財総合活用概要（出典：文化庁）

4年間を振り返り

当選早々、東出張所の窓口にはプライバシー保護のための衝立の設置を町に要望した。すると当時の総務課長さんが、住民のためになることなら検討しましょうと言われ、暫くして衝立が設置された。この「住民のため」という言葉を常にモットーとしてきた。行政のことで分からないことがあったら、電話で済ませることなく、本庁舎に向いて担当課長に直に相談した。百聞は一見にしかずの諺を実践してきたつもりだ。条例や財政、とにかく勉強することで精一杯の4年間でもあった。任期最後の本年度8月には、議員定数削減の共同提案に基づく、賛否を問う議員投票が実施されたが、反対多数で否決された。次へ繋げ頑張る決意である。



松永 俊和 議員

歴史と文化の森公園の外灯整備について

答 LED化も含め検討している

園内の環境整備関連

▽園内の外灯整備

議員 公園の施設は建設から25年近く経過している。経年劣化は仕方がないが、この時期（12月）になると閉園前の時刻には暗くなる。利用者の安全と景観を確保するために外灯の整備を。

生涯学習課長 夕刻になると暗くなるので、ご不便をかけていると思う。



▲点灯できない水銀灯

生涯学習課長 スイッチの移設などを検討する。また園内の他の外灯も点検し、LED化を考えたい。

議員 水銀灯よりもLEDの方が明るくて電気代も安くなるが、公園の全体的な景観も考慮し、設備の改修をお願いする。

故岡本太郎氏の噴

水近くにある背の高い水銀灯（4基）が点灯できれば、ある程度園内をカバードきる。しかし、現在は水銀灯のスイッチが噴水施設の地下にあり、容易に点灯することができない状態である。

議員 夜のイベントがある時だけでなく毎日、閉園まで点灯してほしい。噴水の下にあるスイッチを噴水施設の外に（地上）設置を。

議員 中央階

段の外灯が経年劣化で根元が腐食して倒壊の恐れがある。確認と早急な修復を。

生涯学習課長 公園の環境などを考慮して進めたい。

議員 公園内奥の2カ所のトイレが長い間使用禁止となっているため、利用者がとても困っている。子どもや高齢者の利用も多い。入口まで戻れば良いが、とても不便だと聞く。使用できない原因と早急な対処を。

生涯学習課長 原因は水道管の老朽化で、漏水調査をしているが不明である。12月議会の補正予算で、水道管の仮設工事をし、使用できるように対処する。

議員 トイレ近くの歩道は開園当時真砂土で



▲腐食した外灯

整備されていたが、約25年経過して表面の凸凹がひどく目立つ。また雨水がたまり、側溝との段差が5センチ以上ある。子どもや高齢者がつまずくことが多いと聞く。計画的に公園整備を行ってほしいが。

生涯学習課長 公園設備・建屋施設・電気設備など、今後5年程かけ整備をしていきたい。

◇その他の質問
・南部工業団地の企業誘致と造成計画の推進は

4年間を振り返り

この2年はコロナ禍で明け暮れた日々でした。地域の行事や集まりができなくなり、地域コミュニティが以前と比べると薄く感じられ、前のように何も気にせず集まることが懐かしいと思うこの頃です。

町政の課題である、企業誘致・人口対策・観光振興・町民の幸せと豊かな生活を目指し町民の意見や要望など町民とのパイプ役として、活動を続けて参りました。残り4カ月「もっと・もっと有田」のスローガンで有田をより良くしたいと思ひます。

議員活動の中で皆さんからたくさん温かい言葉や叱咤激励の言葉を頂き本当にありがとうございました。今後「和して同ぜず」の信念で頑張りたいと思います。ありがとうございました

防災行政無線 戸別受信機の無償配置は

答 補助率を上げ、町民の負担軽減を



池田 榮次 議員

戸別受信機の無償配置

▽無償配置の協議結果
議員 どうなったのか。
総務課長 44,000円の機器だが、補助率を4分の3程度とし、負担の軽減を図りたい。



▲家の中で聴ける小型無線機

▽アンテナ代も補助に
議員 「自助努力」の必要性も分かる。アンテナ(約1万円)が必要なご家庭もあると聞く。補助対象にしても不公平ではない。
総務課長 少しでも補助できないか検討する。

分収造林契約

▽分配割合の見直し
議員 分収造林は集落等が町の原野等に植林し、数十年後に成木を売却して収益を分配する制度だが、全国的に今、分配割合の見直しが進んでいる。

有田町の分配割合は7対3。これを植林者8、町2割とし、町民の植林意欲を向上させるべきだ。

農林課長 分配益は町民の財産なので見直しは難しい。

町長 地球温暖化の今、脱炭素の流れからも森林育成は現役世代の責務だ。重要な課題である。見直しは皆伐後の契約更改時にできるのでは。

▽間伐益の分配は疑問
議員 間伐材の売却益も分配対象だと聞くが、

契約書に

定めはない。

の定めない権利行使は

町の拡大解釈だ。

間伐・除伐材は焼却・放置

も可能だが、売却して経費に充たしたい心境も当然だ。植林して2

30年間の間伐・除却材は、育林者の自由裁量だと定めた市や町もある。

農林課長 旧西有田村の貸付規則第6条の「貸付地の立木売却に

よる収益は売却に要した経費を差し引いて分配する」規定は、現有

田町の貸付規則第7条に引き継がれている。

間伐益も分配対象だ。

間伐益の分配は昭和53年から実施され、変更すると不公平になる。

拡大解釈ではない。

・研修をしたい。

農林課長 早急に説明



▲水涵養と保安林でもある分収林

▽控除経費に疑問
議員 分配割合は成木の売却時に適用するものと理解され、間伐益は想定されていないかつたはず。

更に、「収益金は売却に要した諸経費を差し引いた額」とあるが、60年・80年間の育林経費が加味されず、町が上澄みを掠め取るようなもの。町の分配率が高くなる。

「諸経費」の中身も分かりにくい。契約している16集落にも説明や研修をして欲しい。

農林課長 早急に説明

・研修をしたい。

農林課長 早急に説明

4年間を振り返り

年齢の所為か、朝刊の「おくやみ」欄を真っ先に読む。

現役当時は議会の事は全く念頭になかった。71歳のとき突然出馬を薦められ、以来4期16年。辛い病気もせずに一般質問は皆勤できた。

議員は行政執行の監視役。執行部との対峙も結構きつい。4人の町長と対峙した。本来の役目を果たせたかは各位のご判断を仰ぎたい。

勉強もできた。町民各位には当然、執行部にも感謝している。

93歳で逝った父も村会議員で酒好きだった。遺伝なのか、私も晩酌が一番のクスリ。父の歳を超すのが今の夢だ。

酒は何でも良い。今夜は寒い。ホットウイスキーでも飲むか。

お世話になりました。感謝して乾杯！



樋渡 徹 議員

生活環境保全林(有田ダム)の整備

答 松林の再生は困難、遊歩道は検討

有田ダム周辺の町有林

議員 有田ダムは、佐賀県で最初に完成した多目的ダムで、昭和36年6月6日に竣工され、本年度60周年となった。当時、有田小学校と有田中部小学校の児童2千人が日の丸を掲げて盛大に祝われたと歴史資料に残っている。ダム周辺の約100町歩の町有林は、平成10年に町が「ふるさと創生資金」で購入された山林か。

農林課長 有田ダム周辺の「生活環境保全林」である国有林は、ダム完成後の昭和60年頃に町有林として購入されていると思われる。また、平成10年頃購入された山林は、白川ダム周辺の国有林である。購入資金が「ふるさと創生資金」であるかは確認できない。



▲松枯れが目立つ有田ダム湖畔

▽松林の再生

議員 有田観光の目玉として泉山磁石場、国の天然記念物大公孫樹や李参平碑などあるが、当時、登り窯の燃料として利用されていた松も重要な要素であった。今は松くい虫で絶滅状



▲生活環境保全林整備で作られた遊歩道

態であるが、30種類もの耐性のある苗木も開発されている。年間を通してエメラルドグリーンの中水に映える松林を再生してはどうか。

農林課長 有田ダム周辺は古くから松があったが、本年度をもって、松くい虫防除は終了となる。松を植林するため、傾斜地の枯れた松や樹木の撤去は困難で、森林病害虫等防除法による駆除を断念せざるを得ない。今後は、モミジなどの広葉樹による自然林を観光に役立てていきたい。

ダム周辺の遊歩道整備

▽遊歩道の整備

議員 黒髪山への登山ルートは、竜門ダム、有田ダム及び山内町の3ルートが利用されているが、有田ダムルートの町道部分に枯れ松があり危険である。整備をお願いしたい。

農林課長 観光に寄与することを目的とした「県立黒髪山公園整備促進期成会」と相談し進めたい。

議員 マイセンの森とキャンプ場跡地の駐車場近くに、生活環境保全林整備として作られた遊歩道は、現在荒れているが、高齢者の健康に寄与する遊歩道として整備したらどうか。

農林課長 西と東に分かれているが、西を廃止し、東側の状況を確認してから整備したい。

4年間を振り返り

行政の仕事として重要視されるのは、住民の生命と財産を守ることが最優先である。近年は想像されないほどの台風や降雨がおきている。広島や熱海でも近年にない災害が発生した。町内には既使用されなくなった溜池や、保全されていない山林も存在する。また、今後の課題として、エネルギー対策で遊休地や山林に、大規模な太陽光発電が設置されるかも知れない。事前に対策を講じる必要があるが、民間では力が及ばない。行政のきちんとした規制等も重要である。

高齢化や少子化による人口減対策も重要である。労働者人口対策をしっかりと、企業誘致や観光資源の発掘も重要と考え、活動してきたつもりである。

泉山・大谷線の今後の取り組みは

答 南原・原宿線の工事が完了次第取り組む



諸隈 洋介 議員

都市計画道路
泉山・大谷線



▲泉山大谷線の起点部分の上空写真

議員 2期工事の休止継続と今後の取り組みは、令和2年10月5日に南原・原宿線の整備終了まで取り組みめないとの説明文が、地権者の方に対して有建第310号で配布された。南原・原宿線の整備に7～8年以上はかかる

との記述がある。それまでこのいびつな現状のままか。

建設課長 南原・原宿線の整備終了までは休止に変更はない。当該町道は今年度から工事を発注する予定。泉山・大谷線の事業再開に当たっては事業主体の佐賀県やJRとの協議が必要だが、町として再開を要望していく。

議員 インフラの整備は重要であり、住民の環境整備や観光に向けて総合的に進めるべき。
町長 南原原宿線をできるだけ早く進めて、泉山・大谷線の整備もしていきたい。
議員 地区の住民に寄り添った進め方を切望する。

老朽化した家屋の
現状と対策は



▲まずは役場に相談を！

は町民からの空き家の相談や苦情は40件以上あり、除却解体の相談

は10件程。
令和2年度町の単独補助金は4件の利用があり、すでに解体された。また令和3年度は、国庫補助「不良住宅解体補助金」を利用した解体及び交付決定済の案件は現在8

議員 平成30年12月議会で倒壊の恐れのある老朽化した家屋は、651件の空き家の中で30件程あり、対策として「有田町老朽危険空き家除却促進事業補助金交付要綱」が制定された。対策の現状と推移は。
総務課長 令和2年度

件である。
議員 これから老朽家屋は増えるので、この制度は必要であり、制度の充実と町民に対する徹底した情報提供の努力をすべき。
◇その他の質問
・ふるさと納税の使途と今後の活用

4年間を振り返り

議員 生活の半分はコロナ禍にあって考えさせられることが多かった。新型コロナウイルスの影響で企業活動が停滞し、結果として確実に改善した環境汚染の皮肉や世界の潮流だった「都市化」の流れに疑問を投げかけた。

自由は大切、平時は普通にそう思うことが、有事の下ではどうだったか。違う国や場所では「自由」はそれほど絶対的、普遍的ではない。自由の大切さを改めて問われた。コロナが突き付けたもの、それは「社会問題は自分ごと」だということ。多種多様な社会問題の課題解決に少しでも役に立ったのかという自問自答、反省の4年間であった。



岳川 淳彦 議員

地域経済の活性化を目指す取り組み

答 農商工連携で進めていく

地域産業の振興

▽窯業振興

議員 第17回目の秋の有田陶磁器まつりは、コロナ禍の中で本会期の密を避けるために、10月9日(土)から11月14日(日)の土日祝日をプレ期間として開催されたが、本会期と合わせてその総評は。商工観光課長 メイン期間の来場者数は、前年比2・4%増の13万人であった。健闘した数字だと思う。課題として、プレ期間にお店が開いていない、駐車場の対応が悪いなどがあった。土日には駐車場が満車になり、車の渋滞も発生した。歩道への駐車や出店等も見受けられ、警察からの注意、指導も行われた。プレ期間は、アritaセラを始めイベントを実施している所はある程度

度の集客があった。

議員 今後のイベントや観光についてどのよう

に考えているか。商工観光課長 町としては、雛のやきものまつり、陶器市を開催したい。今後Gotoトラベルが再開される予定で、訪問客は増えると思う。コロナ予防対策や駐車場対策などしっかりしていきたい。

▽農業振興

議員 農業の現状は、高齢化で後継者不足問題の背景に、過酷な重労働、コストがかかり、収益が不安定なところを改善する具体的な対策はないのか。

農林課長 集落営農の強化しかないと考えている。今後廃止する農地、更に営農を継続する農地など、集落単位での課題も共有できていると思われる。

議員 魅力ある農業の



▲秋の有田陶磁器まつり

推進事業の現状は。

農林課長 収益が見込めることが一番の魅力と言える。施設園芸が主体にならざるを得ない状況であり、県と連携し、新規就農者や施設園芸のサポートを充分に進めていくことが必要である。

▽商工業振興

議員 地域経済の活性化を農商工連携で推進し、6次産業化の取り組みを踏まえてどのような考えがあるか。

農林課長 安定供給できる作物が課題となるが、農商工連携は進めて行くべきと思う。

商工観光課長 町の農産品も一緒に販売できる取り組みを広げてい

きたい。観光協会のネットショップ「有田産品」を活性化できればと考えている。

4年間を振り返り

初当選から約1年が経過したところから体調不良が続き、そうこうしているうちに、コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が発令され、人の流れが止まり、経済までが止まってしまふ。その影響は大きく、深刻な事態となる。議会も時間短縮や、イベント、会議など全てが取り止めとなった。その中での議会活動は何もかも初めてで、地域住民の方や先輩議員の手厚いご指導を受けながら無我夢中で頑張っている。これからも更なるご指導のほどよろしくお願ひします。

有工「地域みらい留学」 今後の町の支援体制は

答 留学生のための環境整備に努めたい



原田 一宏 議員

地域みらい留学

▽有田工業高校全国募集に係る県外学生生活支援事業

議員 有田工業高校の「地域みらい留学」での県外生徒募集に伴い、生活支援事業が9月議会で追加補正されたが、支援に至る経緯は。

まちづくり課長 令和3年1月に、県教育委員会より、有田工業高校1校を選択して「地域みらい留学」制度に参加する旨の話があり、1月から協議を開始した。生徒募集の広報は有工が、住まい及び地域活性化についての支援は町が、総合調整を県教委が行うこととなっている。町として、受け入れるにあたっては、住まいと食事が重要で、住居費と食事の一部を支援するということで、月3万円の支

援をすることとなった。

議員 説明会やオリエンテーションなどはどうなっているか。

まちづくり課長 合同説明会が5回、305人の中学生が参加した。有工独自の説明会に42人の中学生が参加し、10月16・17日のオープンスクールでは、2家族が参加した。

議員 町民へのサポートのお願いや周知は。

まちづくり課長 広報8月号で周知し、協力できる方を募集した。

議員 「住」環境の整備は。

まちづくり課長 住まいの提供が、東地区2軒、西地区1軒あった。**議員** 「食」環境の整備は。

まちづくり課長 個別での食事の提供は困難な面もあるので、料飲店組合へ協力をお願いしている。現在、東地区10店舗、西地区7店

舗の協力店がある。

議員 「オフィスおかん」

や「オフィスでごはん」などの設置型社食の福利厚生事業や佐世保市が行っている「まちの学食」などの連携は。

まちづくり課長 「オフィスおかん」の事業の中に

「おかん」という個人利用可能な事業もあるので、町内に留学する学生の食の確保の選択肢を広げる意味では、適当かと思う。食に関して、選択できる環境を作りたい。

議員 今後の進め方は。まちづくり課長 受験合格の留学生のために、町や飲食店・関係者・OB含めた関係団体と

地域みらい留学



▲地域みらい留学ホームページより

一丸となって、環境を整えるようにしている。

議員 教育長・町長の考えは。

教育長 町の小中学校とも連携を図り、受け入れた留学生をしっかりと送り出せる環境を作れるように協議を進めたい。

町長 留学生をしっかりとサポートすることが課題である。

4年間を振り返り

今期4年間は、副議長の職を拝命し、議長をサポートして、円滑な議会の運営・活動に努めてまいりました。

議会活動の一部として、議員と語るう会や町内各団体との意見交換会の開催で、広く町民の意見を聴収できたことは、私たち議員にとって、諸問題への対応や提言などを深く勉強でき、町民の声の代弁者として活動させていただく一助になりました。私たちが望む開かれた議会の表れであると思っております。最後になりますが、町民の皆様をはじめ、お世話になった町職員の方々に深く感謝いたします。有難うございました。



手塚 英樹 議員

成績と生活習慣の関係性は

答 規則正しい生活は学力・体力向上に必要

令和3年度全国学力
学習調査の結果

議員 全国都道府県の
順位では佐賀県は小学
6年生が22位、中学3
年生が41位となってい
たが有田町の結果は。

令和3年度全国学力・学習調査と有田町比較表

小学6年生	全国平均	佐賀県平均	有田町平均
国語	64.7	65.0	65.0
算数	70.2	69.0	72.0
中学3年生	全国平均	佐賀県平均	有田町平均
国語	64.6	62.0	60.0
数学	57.2	56.0	50.0

教育長 右の表の結果
となっている。小学6
年生は国語・算数とも
全国平均を超えている。
中学3年生は国語・数
学とも全国平均を下回
っている。年度毎に成
績のばらつきはある。
議員 毎年度成績上位県
は大体同じである。佐
賀県の改善が見えない

が。

教育長 県も危機意識
があり、3年前から改
善に向けて取り組まれ
ている。町内の中学校
では放課後学習も行っ
ている。

議員 小中学校全国
一位である石川県は、
平成14年から金沢大学
と連携して基礎学力向
上に取り組んでいる。
有田キャンパスがある
佐賀大学と有田町での
取り組みは。
教育長 佐賀大学とは
STEAM教育での取
り組みが始まった。県
教育センターでは大学
との連携は行っている。
議員 起床時刻と就寝
時刻の調査で、成績上
位県は規則正しい起
床・就寝ができてい
るとある。
教育長 学力だけの調
査ではなく生活面での
調査も行っている。家
庭での規則正しい生活
は学力だけでなく社会

人となるために身に付
けたいものである。

小学校高学年教科担任制

議員 教科担任制によ
る効果は。
教育長 算数・国語な
ど専門教科担任を4年
間で配置する方針。効
果は、①学力の向上②
中学校への円滑な接続
③教育現場の働き方改
革である。

議員 1学年1学級の
有田小学校では問題は
ないか。
教育長 英語教育で、
現在行っているように
4校を掛け持ちするな
ど工夫して行う。

議員 「より良い教育
水準・教育環境で子ど
もを育てたい」と親は
思う。また、教育は移
住を決める時の条件の
一つでもある。これら
は、有田町が目指すこ
ろである。

秋の陶磁器まつりを終えて

議員 今回の週末プレ
イイベントを通年観光に
つなげては。
商工観光課長 今後も
継続して、週末イベン
トを開催してもらいな
どの協力を関係者に呼
びかけていきたい。



▲秋の有田陶磁器まつりの様子

議員 陶磁器まつり期
間には特に土日の人出が
多く、交通規制を考え
る時では。
商工観光課長 交通規
制は住民の方の協力も
必要である。今後の問

題として考えていく。
議員 秋の陶磁器まつ
りを安心安全で楽しく
散策できるイベントに。

議員任期を振り返り

故立部議員の後を受
けて約1年間の議員任
期。店舗対策、高齢者
買い物手伝い青空市の
開催、街角イベントの
継続などを行った。

佐賀大学学生が行っ
た「内山建物思い出マ
ップ」のワークショップ
は町民と学生との交
流が繋がるものとなっ
た。大学生の「有田町
昭和8年道路拡張時の
マップ」作りにも活か
された。コロナ禍で大
変な時だが、来年は新
幹線開通、JRディス
ティネーションなど有
田町への追い風になる
様準備をしたい。

高齢者に対する改正道交法が施行、対策は

答 地域公共交通計画を策定する中で検討



福島 日人士 議員

高齢者に対する 改正道路交通法

議員 警察庁は運転免許更新通知が届いた時点から過去約3年間に、信号無視、逆走、横断歩行者妨害等11種類のうち一つでも違反をした75才以上に運転技能検査（実車試験）を義務付け、認知機能検査と講習（実車試験）を組み合わせて悲惨な交通事故防止を目指す方針である。運転免許証の返納者が増加すると思うが町の対策は。

まちづくり課長 町では来年度、地域公共交通計画を策定する予定である。その中で移動手段の確保には充分議論を重ねていく予定である。

議員 独居・高齢者への買い物支援などの対策は。

健康福祉課長 町で実施している介護保険の

総合事業で「元気の出る学校」では、要支援1・2の方を対象に送迎付きで運動教室を受講され、帰りに買い物をして帰宅される。

杜協が実施している「地域支援まごの手事業」は、日常生活上、公的なサービスではまかないきれない、困りごとをお持ちの高齢者に対し、まごの手サポーターとして登録された、地域の身近な人が有償ボランティアとなり、住民相互の助け合いや買い物代行を行う。



▲「ちとせ」横ゲートボール場

また、「買い物支援事業」では、公共交通機関の不便な地域の一人暮らしや高齢者世帯の方などを対象に、杜協の車両で商業施設への送迎などを行い、日常の買い物支援を行っている。

ゲートボール場の ドーム屋根の延長は

議員 「ちとせ」横のゲートボール場は現在グラウンド・ゴルフ、ゲートボールなど毎週のように利用されている。また、有老連などの多人数でのゲームはコロナ禍で体育館でのレクリエーションゲームなどはできない。雨天時には、中学生の部活でも利用できるように整備できないか。

健康福祉課長 このドーム屋根の延長には数千万円の費用がかかり、現在のところ難しい。

曲川小学校校門の壁画

議員 昨年解体された校門の壁画は、未来のある児童たちが描いた作品であった。その後の対応は。

学校教育課長 陶板の復元予定はない。

議員 子どもたちが夢を描いた作品だが町長の考えは。

町長 現時点でこれを



▲解体された曲川小学校ブロック塀の陶板

描いた生徒・保護者からの問い合わせはない。教育長はじめ様々な意見を聞きながら検討していく。

4年間を振り返り

まず、国道202号線信号から前原工業団地への通勤道の道幅が狭く、歩道もない状況だったため改善するよう強く要望し整備された。

また、これは希望であるが、2024年度に佐賀県で開催される国民スポーツ大会までには「ちとせ」横のドーム屋根の整備が出来たらと願っている。高齢者が健康で生きがいのある町づくり、子どもたちに夢のある明るい未来につなげていきたい。

最後に、広報委員長として、議会事務局、広報委員会皆様の御協力により素晴らしい「議会だより」ができました。ありがとうございました。



今泉 藤一郎 議員

老朽空き家対策に伴う相続を

答 親族の責任で相続・管理して頂きたい

▽遺産相続

議員 国土の2割強が所有者不明土地だが、相続は義務か権利か。また、その必要性は。

税務副課長 一般的に財産は権利で、債務は義務と考える。相続するか相続放棄をするかの判断は、相続人個人に委ねられている。

議員 相続放棄の手続きと期限は。

税務副課長 相続人は家庭裁判所で3カ月以内に、相続について単純もしくは限定の承認または、放棄する必要がある。なお、相続放棄しても、その財産の所有者が決まるまでは、その財産の管理責任は残る。

議員 法定相続人全員が相続放棄した場合、国庫に帰属されるのか。税務副課長 令和5年4月28日までに、相続土地国庫帰属法は施行され可能となるが、一

定の条件を満たさないと利用することができない。

▽遺言書

議員 法務局が管理する「自筆証書遺言書保管制度」の活用は。

住民環境課長 遺言書は相続をめぐる紛争を防止するために有用な手段である。法務局に確認したが、制度自体が浸透していないということで、町でも周知することが重要と考える。

▽法制化

議員 大方の人が直面することだが、親などが亡くなり法定相続人による不動産や動産の相続手続きの期限などは。

税務副課長 令和6年からは、相続登記の放置を防止するために、相続を知った日から3年以内に所有権移転登記を申請することが法律上の義務となる。手続をしないと過料も課されるようになる。

▽空き家の管理責任

議員 町内にも老朽空き家や荒廃地など、未登記物件も増加傾向で、行政代執行による解体除却事案の増加が予測できるが、今後の対策をどの



▲自筆証書遺言保管制度のしくみ(出典:佐賀県)

ように考えるか。

総務課長 空き家の除却を行う上で、相続の必要性は非常に感じている。空き家の管理や周知は、県からの冊子を利用して、区長に地区内の住民への説明・紹介を依頼している。お亡くなりになった場合は親族の責任で、適切に相続をして管理をして頂きたい。

議員 自分の家に隣接する所有者不明の老朽空き家が倒壊し、負の影響を与えられた場合

4年間を振り返り

に町の対応策は。町長 このような事を踏まえて協議して対応を決めたい。

今期も公約に基づいて議員活動をしてきました。皆さんからご意見を頂き、可能性を考えながら質問、提案をして一定の成果を得ることができました。町は、福祉全般が更に充実するよう、令和4年3月までに有田町地域福祉(活動)計画が策定されます。法律、制度の改定が繰り返される中、私たちは今後も注視していく必要があります。コロナ禍で経済不況等の影響による少子化、若者の町外転出、空き家の増加などへの対策が重要不可欠です。早く平時になりますよう願っています。

「子育て応援宣言」をし、子育て支援を

答 来年の新体制を踏まえ検討していきたい



梶原 貞則 議員



▲岡山県奈義町子育て応援宣言

「子育て応援宣言」をし、子育て支援を

議員 有田町の出生数は、平成13年の218人をピークに年々減少し、平成29年149人、令和2年111人、令和3年約100人と、来年は100人を切るような状況である。

町でもいろいろな少子化施策があるが、さらなる少子化対策が必要ではないか。岡山県奈義町では「子育て応援宣言」をし、このよ

うな施策を行っている。今回も町長 少子化対策について様々な施策を行っている。今後もし子育てしやすい環境のための施策を行っている。子育て支援課長 宣言につ

援宣言」をし、いろいろな施策を行っている。在宅育児支援手当（7

カ月児から満4才までの児童に月額15,000円を支給）、高等学校等就学支援（年額135,000円を支給）、医療費を高校生まで無料化、出産祝い金10万円の交付、ワクチン接種の無料化、不妊治療助成を年20万円限度に行われている。有田町でも「子育て応援宣言」をし、このよ

いては、来年度からの新体制を踏まえながら検討していきたい。

有工野球部の甲子園出場に支援を

議員 有工野球部が先月行われた秋の九州大会において、ベスト4という成績を収め、来年春に開催される、春の選抜高校野球への出場がほぼ決まっている。今回は前回（平成25年夏の大会）とは違い、陶器市の1カ月前の3月であるので、陶器市のPRに絶好のチャンスである。前回

は大応援団が甲子園に行き、町が一つになった。今回も町として前回以上の支援を行い、陶器市の来場者の増に



▲2013年夏の甲子園有工応援団の様子

繋げ有田町を活性化していただきたい。生涯学習課長 前回は有田町甲子園出場費補助金交付要綱に基づき補助金500万円と懸垂幕、横断幕の費用を支出している。出場が決定すれば、前回と同じような支援を行う予定である。

町長 前回の甲子園大

会は大変盛り上がった。今回もいろいろな広報の仕方があるので、方法を考えてPRを行っていききたい。

4年間を振り返り

議員活動5期目。

基幹産業である、窯業低迷の解消等、課題は山積みの中、コロナ禍による更なる不況に襲われ、地域を取り巻く環境は混迷を深めています。

しかし、コロナ対応によるネット販売の推進や、有田町のふるさと納税の増加、飲食のテイクアウトの普及等、今までと違った経済や社会の変化が起こっています。

11月半ばよりコロナ禍も収まり、経済活動も次第に上昇してゆくものと思います。

また、改めて故郷や人、コミュニティの有難さを実感させられました。この素晴らしい故郷（有田）を守り育てたいと、思いを新たにし、明るい心豊かな町創りに邁進して参ります。



古賀 四郎 議員

佐銀ATMは移設後増設要請はしたのか

答 銀行側と協議している

佐銀ATM

議員 佐賀銀行が移転し、有田支店、駅前支店での利用ができなくなるので、住民が不便になると分かっていたはずである。町有地を売り払った場所ゆえ、当初から佐賀銀行跡地へのATM設置要請はしていたのか。



▲有田町役場本庁舎駐車場に設置された佐賀銀行ATM

財政課長 不便さは耳に届いている。佐賀銀行からは、新たなATM設置は難しいとの事であったが、跡地活用の中で設置要望があり、

利用者が充分見込まれれば、設置を検討するとのことだ。

町長 佐賀銀行の頭取に会った際、住民の不便さは話しているの、必要性があることを伝えていきたい。

議員 当然移転の話があった折、要請しておくべき案件だったはず。強く要望する。

ゴミ袋販売

議員 佐賀銀行内に東出張所が開所してからゴミ袋の事業者向け卸販売がされなくなった。小さな商店も婦人の家まで仕入れに行かなければならない。当然東出張所で手に入るものと期待されていたが、販売所の切り捨てではないか。

住民環境課長 現在、ゴミ袋販売は委託業務となっているため、婦人の方が家での販売できない。ただ、そのような要望を踏まえ、今後、委託内容等の見直しを検討していきたい。

観光協会人事

議員 観光協会会長を町長が兼務されている。予算を付ける側と付けられる団体の長が同一人物ということは受け入れられない人事ではないか。



▲有田観光協会外観

町長 成り手がいないので引き受けた。けじめは付けている。

町長選出馬

議員 副町長はどう思うか。

副町長 会長職を引き受けるかについては、個人の判断だと思う。11月は何のくら

議員 副町長はどうか。

町長 成り手がいないので引き受けた。けじめは付けている。

議員 来月4月に町長選があるが決意を。

町長 町のため、やり残した事、やりたい事がある。来期も挑戦する覚悟だ。

議員 健闘を祈る。

4年間を振り返り

議会の議事とは審議する事である。よって追任機関ではなく、チェック機能を絶えず持ち続けなければならぬ。首長を頂点に優秀な職員たちに防御され、絶大な権利を有し、町政を運営しているからこそ、そこにはチェック機能の必要性こそが二元代表制の原点である。

議会には議決権が与えられているが、過半数という壁が大きく立ちあがる時がある。そのためには議員間の議論や町民の関心と監視体制が必要になってくる。

町民・議会・町長との三位一体の緊張感が町を発展させると思ふ。

太陽光パネルやEV火災のリスクは

答 消防本部・署・団・役場の連携で対応



藤 誠一郎 議員

太陽光発電システムや電気自動車
の災害リスク

議員 行政が主導した「太陽光発電や電気自動車（EVバッテリー搭載など）」に対する支援は町内で成果がでてきているか、具体的な数値を示せ。

住民環境課長 平成22年7月～平成30年3月まで個人住宅に設置した太陽光発電システムに対して補助を行った。総計で509件、補助額は39093千円。

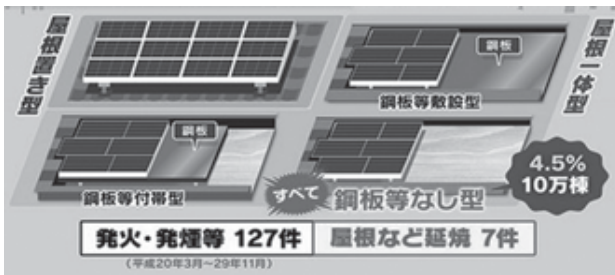
議員 今年7月の熱海市の土石流災害は太陽光発電設備との因果関係を指摘する声がある。別地域（山梨県）では盛り土や発電施設の緊急点検を開始された。他自治体でも条例見直し等、何か動きがあるのか。

総務課長 町内の大規模開発地については県と町が緊急点検を行い、

また全国では防災・景観・自然保護の観点から規制条例等を制定する動きがある。一方で、再生可能エネルギー推進を行う自治体も多いようだ。

▽火災時の消火対応や連携

議員 特に難しいのが「火災」のリスク回避や事故対応である。火災時の消防活動は危険である。地域住民への



▲消費者庁「安全調査委員会」資料より



▲コンテナプールに車体を水没させ完全鎮火した例（オランダの報道）

周知や消防本部との連携は。

総務課長 消防では設置業者への消火方法の

確認および粉末消火剤による消火活動を実施している。町民への周知は防災無線の活用、イレブントVでのテロップ等により行っている。またEVバッテリー搭載車の火災対応についてはメーカーから構造等の情報を入手し、火災対応の研修を行っている。消防本部・署・団・役場で密な連携を取っていききたい。

自然環境保護・省エネ事業におけるフォロー体制

議員 5月に参議院で

成立した改正温対法。自治体の努力義務として、地域が主体となつて取り組みを行なっていく必要があるのでは。

総務課長 太陽光などの再生可能エネルギー設備を導入する区域を設定し、動植物生態系や居住環境などに配慮し、これから検討していきたい。

議員 最近のCOP26

国際会議でも世界各地のエネルギー政策が大きな動きをみせている。町がリーダーシップを発揮し、民間とも連携できるような要望したい。

例えば空き家調査時に、太陽光発電設備の有無だけでもチェックできるはず。具体的に動いてほしい。

町長 国の指導や情報をもとに町としても、

環境保護とエネルギー政策と共存できるよう、関係各所と協議をして取り組んでいく。

4年間を振り返り

【二年目】戸矢産廃処分場の環境問題へ対策。

【二年目】2025問題。地域医療・福祉支援サービスへの提案。

【三年目】「南原原宿線」新設道路事業を含め、インフラ補充・災害避難先などの提言。

【四年目】新型コロナ感染症への対応対策。財源・資金調達方法などの提言。行政・議会運営の健全化推進。

未だ解決すべき課題が山積していますが、町内の方々のご支援に支えられながら議員活動しております。世のため人のために誠心誠意と感謝を込めて。



蒲原 多三男 議員

弱者のいない、すべての人に
やさしい町づくりを

答 UDを工夫し、福祉を含め取り組みたい

小・中学校の学習用
端末の管理は

議員 国の「GIGAスクール構想」に基づき、全国に配備された一人一台の学習用の端末等による嫌がらせや、いじめのトラブルが発生している。例えば許可なく撮影した、友だちの写真をおかしく見せる目的で、他の生徒の端末ID・パスワードを無断使用し、送信するといった行為を「いじめ」と認知している自治体もあるとのこと。町の学校では、端末の管理はどうか。また、トラブルは起きていないか。

学校教育課長 町内の小中学校では、端末を使用したいじめはあっていない。児童が使用した後は、管理庫で施錠している。

議員 「GIGAスクールの構想」を進めている。

く中での課題・問題点は。

学校教育課長 学校用端末に限らず、家庭ではタブレットやスマホでインターネットへの不適切なサイト等への接続の問題が考えられる。情報モラル教育も進めていきたい。

議員 未来の宝である子どもたちのために、私どもにできることは全力で取り組んでいきたい。

弱者を生まない
町づくりへ

議員 ベーシックサービスとは、誰が必要

とする医療・介護・教育を誰もが負担者となり、豊富な税収を確保し幅広い層を受益者にするという考え方。生活保障を強化するものだが、健康福祉課長 少ない負担での社会保障は、住民の安心になる。所得相応負担の現状の中、国の動向を注視して町でできることは、やりたい。

議員 「救済」する事業を減らし、サービスを大さく。弱者を救済するから、弱者を生まない社会へと転換の時では。町内のためだけに使われる福祉を積み立て、

バリアフリー化の推移

(バリアフリー基準に適合している割合)

年度末時点	2001	2018
駅、空港など旅客施設		
段差の解消	33.3%	95.6%
点字ブロック	64.3%	98.2%
障がい者用トイレ	2.7%	92.7%
公共交通機関の車両など		
鉄道	14.8%	73.2%
ノンステップバス	3.9%	45.7%
旅客船	0.2%	46.2%
航空機	12.5%	98.2%

※国土交通省の資料を基に作成

暮らしの積み立てを町独自でできないものか。町長 できることは検討していきたい。

D X(デジタル変革)UD(ユニバーサルデザイン)への取り組み強化を

議員 日本のデジタル化が、諸外国と比べ20年遅れていることが、このコロナ禍で明白となった。デジタル庁の創設で、オンライン教育・テレワーク・遠隔医療や電子政府・電子自治体などの行政サービスも少しは前進するのでは。またUDを進めることにより、年齢・性別・能力・体格に関わらずに最初から、まち、もの、情報サービスなどを作り出すことが求められているのでは。

健康福祉課長 建物、道路、交通などのバリアを取り除き町民の安

心、安全のUDを進めていきたい。

町長 ニーズが多様化する時代と思う。UDを行政の中で、工夫して取り組んでいきたい。

4年間を振り返り

町民の皆様は、よりよき暮らしにつながる議会活動ができたのか、自問自答の繰り返しでありました。この4年間もご支援、激励を頂戴しての日々でした。これまでにない社会情勢の環境、災害の頻発、経済の変遷、コロナによる社会への大席捲がありました。

今までと同じではなく、今までにない議員活動、地域施策を作りあげていくべき時代ではと思っています。町民の皆様、御支援の皆様、町の執行部をはじめ、職員の皆様お一人お一人に心から感謝申し上げます。

産業建設常任委員会行政視察

令和3年11月16日から18日まで北海道帯広市と白老町の行政視察を行った。

▽帯広市

帯広市では、「フードバレーとかち」の取り組みについて視察を行った。

「フードバレーとかち」は、帯広市を中心に、1市18町村がスクラムを組み、①農林漁業を成長産業にする②食の価値を創出する③十勝の魅力を売り込むという3本の柱で取り組んでいる。

国際戦略総合特区という国の補助事業制度を活用し、580億円の設備投資を誘発し、農業取扱高も約1・5倍に上昇している。「フードバレーとかち」の目指す姿は、アジアの食と農業の物流拠点として、十勝への可能性を求め、人や企業が行き交い、食と農業を中心にした新たな好循環を

生み出していこうとするものであった。

帯広市を中心に、「十勝は一つ」という意識のもと事業展開しているこの事業は、佐世保市を中心とした、西九州させば広域都市圏連携協約締結の地域でも、大変参考になる事例であると感じた。

▽白老町

白老町にて、ウポポイの開館と観光行政及び通年議会について視察を行った。

▽白老町の観光振興策

ウポポイは、アイヌ文化復興のナショナルセンターとして、国立アイヌ民族博物館・国立民族共生公園・慰霊施設で構成された、民族共生象徴空間であり、令和2年7月に開業した。ウポポイとは、アイヌ語で「大勢で歌う」という意味である。



▲ウポポイの外観

白老町の観光客数は、ウポポイの開業により令和元年度の149万人から、令和2年度は175万人と増加している。

白老町観光協会の取り組みとして、ポロトミントラ（白老駅北観光商業ゾーン）白老駅北観光インフォメーションセンターを町で整備し、指定管理者制度で観光協会が運営し特産品の販売等を行っている。

令和2年は14万人の来場者があり、5700万円の売り上げがあった。

このようにコロナ禍でも、これだけの販売実績があれば、アフターコロナでは、もっと多くの観光客が期待でき、特産品の販売もかなり伸びることと実感した。

▽通年議会（白老町）

白老町では平成20年6月議会から「通年議会」を導入した。

「通年議会」とは、首長が1月に議会を招集し、会期は12月まで（地方自治法で会期は議会が決める）。議会の活動能力がない「閉会中」がなくなるということである。

メリットは、①監視機能のさらなる充実、強化が図られ、議会の活性化がなされた②年中活動できる通年性を生かした年間活動計画により、議会が機能的に活動できるようになった③通年活動による政策提言が活発にできるようになったこと。デメリットは、特にないとのことであった。年間を通して活動できる

通年議会により、活発な議員活動が行われていることを深く知ることができ、有田町議会での必要性を感じた。

4年間を振り返り



久保田 均 議員

田植唄アジアフェスティバルで世界に開かれた町として内外に高い評価を受けた旧町先立ちの理念とパワーは忘れられ、莫大なエネルギーを投入した国際交流体験も、続けていけば今や日本に稀なる町になっていたであろう。合併の成果を問う声も薄れた。私は有田焼の母百婆仙追慕像建立や皿踊り隊の韓国派遣など新たに試みたが、及ばず。先立ちのパワーを取り戻し、新たな風を起こす後人の出現を祈り任期を終えます。ご支援を感謝します。

総務常任委員会行政視察

令和3年11月16日から18日まで北海道森町と安平町の行政視察を行った。

▽森 町

人口は約1万5千人で、道南に位置する。駅弁で有名な「いか飯」の発祥地である。帆立貝の養殖等を中心

心とした海鮮漁業が盛んで穏やかな町である。

通年議会の先進自治体として、導入までの経緯やメリット、デメリットを研修目的として訪問した。

導入までの経緯

森町では、議会改革の一



▲森町視察の様子

つとして通年議会導入についての議論をしていた。通常、招集権は首長が持つており、突発的事件や緊急の行政課題に対応できなかつたため、専決処分がなされてきたが、専決処分を最小限にし、議会としても早急に対応できるよう、導入を決議した。

メリット

1. 議長判断で議会開催ができる
2. 緊急事態に対応可能
3. 議会会期は年中開催とする
4. 首長提案の専決処分が少なくなる
5. 行政と議会の対話の機会が増える

デメリット

特にない

森町議会は平成23年1月より導入し、現在に至る。当町も導入に関して議論を始めるべきである。

▽安平町

広大な町有地を有する自治体である。新千歳空港から車で東へ約20分の所に位置している。

町内には「苦東安平ソーラーパーク」を有し、固定資産税で年間数千万円の収入があり、長期的には約35億円もの税収があがると見込まれる。その他にも「ソフトバンク苦東安平ソー



▲メガソーラー（安平町）

ラーパーク2」も完成していた。

敷地にはおびただしい太陽光モジュールが、角度30度（降雪の影響を少なくするため）地上1mで設置されており、面積は161haで、札幌ドーム約30個分の広さを持ち、年間約3万世

帯分の発電量を誇っている。また、約43億2千万円を北海道電力に売電している。

発電事業者は地元の小中学校を対象にiPadを使った体験型教育「未来×エネルギー」などの地域貢献活動等を行っている。

地球温暖化に向けて対策が叫ばれている中、また、脱炭素社会実現を目指すべく、世界的流れの中、先進自治体を参考にした上で、当町の魅力を最大限に引き出し、一自治体として国策、財政、雇用、移住定住の促進など、今後の町政に活かしていかなければならないと感じた。

保育園の民営化問題を考える特別委員会 委員会調査報告

令和3年9月の発議から同年12月まで10回開催し、下記内容の協議・要望を提示した。

■特別委員会／委員長（藤）・副委員長（今泉）・委員（池田・蒲原・久保田・松永・中島・岳川）

■調査事件

- ・くわこば保育園を民営化する問題提起があり、「公開を求める内容」についてさらに協議を深める。

■協議内容

- ①「保育所運営を考える会」と「議事録の公開」
- ②「くわこば保育園民営化」の理由と執行部の対処
- ③ 諮問内容の公開
- ④ 保護者と地域住民の理解と解釈

■総括および結論

- ・執行部が提案している「くわこば保育園の民営化スケジュール案」について白紙撤回という意見もあり、慎重を期すために再審議を要求する。

- 【1】議事録を検証した結果、諮問委員会内では十分に議論されていない。
- 【2】少子化対策を目的にしているが、民営化することで解消・解決できるのか。
- 【3】保育士不足については、民間・公立含め適切な人材の確保を要請する。
- 【4】一町民に対する言動については不適切な行為であり執行部には猛省を促す。

■要望事項

町内8園について将来を見据え、保護者・地域住民の意見を尊重する。運営・経営支援や人材補強策として、町と各園との意思疎通が深まるよう工夫し、人事交流等の連携強化を要求する。最後に、くわこば保育園の保護者等に再度説明会を開催することを要求した。また町は説明や報告などを行う際は、疑義が生じないように慎重な言動を求める。

■行政視察受け入れ報告

江北町議会視察

令和3年11月22日に江北町議会総務常任委員会5人の議員が当町議会を視察されました。

議会タブレット導入状況について目的や経緯、導入後の効果について研修されました。



■一般質問回数

一般質問は、議員にとって意義のある発言の場で、議員の町政について自由に質問することを言います。質問する項目は、事前に通告し、時間内であれば何度も質問できる「一問一答」を採用しています。

（平成30年6月議会から令和3年12月議会までに、15回の定例会が開催されていますが、令和2年6月議会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止及び執行部の業務が増加したことを考慮し、一般質問を中止しています。そのため、一般質問を実施した定例会は14回となっています。また、立部議員の任期は平成30年4月16日～令和2年12月20日、手塚議員の任期は令和2年12月25日～現在までとなっています。）

	諸 隈 洋 介	岳 川 淳 彦	中 島 達 郎	樋 渡 徹	立 部 正 則	手 塚 英 樹	福 島 日 人 士	松 永 俊 和	久 保 田 均	蒲 原 多 三 男	古 賀 四 郎	池 田 榮 次	梶 原 貞 則	今 泉 藤 一 郎	藤 誠 一 郎	原 田 一 宏	松 尾 文 則
H30	4	4	4	4	3	—	4	4	3	3	3	4	3	4	3	4	—
R1	4	4	4	4	2	—	3	4	1	4	3	4	3	4	2	4	—
R2	3	3	3	3	0	1	3	3	1	3	2	3	3	3	2	3	—
R3	3	3	3	3	—	3	2	3	0	2	3	3	3	3	2	3	—
計	14	14	14	14	5	4	12	14	5	12	11	14	12	14	9	14	—

4年間を振り返って



松尾 文則 議長

4年前の議長選挙所信表明では、町の発展のために「議会が一つになる環境づくり」を目標に宣言し、議長として7年目のスタートを切った。議員間の融和と平等性・タブレッツの導入・各種団体との意見交換会など議会改革も前進したものと自負している。

令和元年の7月に全国議長会会長を拝命した。20年来の悲願であった「選挙公営の拡大」に向け、供託金の制度化と選挙公営の拡大をセットで要望することで、1年をかけて自民党選挙制度調査会を中心に議論を進めていただき、議員立法にて法案が5月に提出された。

3月から6月までに9回上京し、要望活動に奔走した。一時は厳しい状況にあったが、時の森山国会対策委員長のご尽力もあり、令和

2年6月に法案が可決された。悲願達成は、私の19年の議員活動の中でも生涯忘れることのできない事となった。

昨年からは議員の厚生年金制度に向けて要請活動が続けて来たが、議員の位置づけの明確化がなされておらず、これをクリアしてからスタートとなり、近い将来達成できるものと考えている。

全国議長会会長時は天皇陛下のご即位に伴う儀式に合わせて、7回参列させていただいた。いづれも皇居で執り行われ、その荘厳な雰囲気は言葉に言い尽くせないものであった。新型コロナウイルスの影響で当初の予定人数が大幅に絞られ、参列者50人だけの儀式もあったが、全国知事会・市長会・町村会・全国都道府県議長会・市議会議長会・町村議長会の地方六団体の会長はすべての儀式に参列させていただいた。我が国における地方自治体の位置づけとその重さを大変強く感じ、その重責に身の引き締まる思いであった。

このような貴重な経験をさせて頂いたことに感謝し、今後とも努力精進していく覚悟である。



▲広報委員会作業風景



▲議員全員集合

今期（4年間）の議員活動もとわずかとなり、「議会だより」も今回で最終号となります。

■議長交際費支出状況（令和3年10月～12月）

項目	件数	支出額	備 考
会費	1	6,000円	行政懇談会費
雑費	1	5,000円	東地区戦没者追悼式供花料
合計	2	11,000円	

あ
と
が
き

任期満了のため、議会広報は12月議会号で最終号となる。

読みやすい文章、議員の本音にせまる記事为目标とし、年一回の議会広報クリニク研修を受講するも、まだまだ途上であったと反省しかない。若い委員が多く、和気あいあいとした中でも緊張感を持って編集作業に携われた事は、今後それぞれの財産になると思う。

ただ、広報委員会メンバーの立部議員との別れは未だに信じられない。彼の分まで頑張ろうという気持ちを新たにしたい。

誌面づくりには読者（町民）の意見、感想が何よりも大切である。次回からは新メンバーとなるが皆さま方の意見を反映させ、より良い誌面づくりを期待する。

結びに議会事務局の協力に感謝し、又、読者の皆さまには今後とも「有田町議会だより」の愛読をお願い致します。

議会広報発行特別委員

委員長 福島日人士
副委員長 古賀 四郎
委員 諸隈 洋介
委員 岳川 淳彦
委員 中島 達郎
委員 樋渡 徹